

令和5年度 地域振興推進費事業総括表

整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
1	C	御岳県立公園の国定公園化推進事業	・親子を対象に御嶽山周辺のエコツアーを開催し、国定公園化に向けた御嶽山への関心を高める。 ・御岳県立公園の国定公園化の機運を高めるため、公用車(県、町村)、バス、タクシー等に張り付けるマグネットシートを作成し、広く周知を行う。	令和5年8月 ～ 令和6年3月	
2	B	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業	松本空港経由のレンタカー使用者の、空港周辺地域への周遊を促進するため、観光クーポンブックを配布する。 (松本、北アルプス、木曾、諏訪、上田地域)	令和5年5月 ～ 令和6年3月	松本地域振興局
3	C	ふるさとの思い出品造成事業	一町村にスポットを当て、地域の特産品など地域の企業等で作成した卒業等記念品を贈呈することにより、ふるさとへの想いを深めてもらう。	令和5年11月 ～ 令和6年3月	
4	C	移住促進に向けた木曾地域PR事業	・町村窓口を訪れる転入者に対し、実施依頼している移住者捕捉アンケート記入協力を依頼するために、木曾の木材製品(木曾ヒノキ箸)を配付し、アンケート回収率の向上を図るとともに、木曾の木材製品のPRを図る。	令和5年11月 ～ 令和6年3月	
5	C	木曾地域ブランド探索事業	日本遺産のPR方法を「地域おこし協力隊」等に検討いただき、観光振興等をはじめとした木曾地域の魅力向上を図る。		廃止 欠番
6	C	王滝村田の原来訪者調査事業	木曾町、王滝村と連携し、「御嶽山ビジターセンター」に関する聞き取り調査を行い、今後の施策へと結びつける。		廃止 欠番
7	C	木曾地域木材産業振興対策推進事業	・効果的な流通に必要な原木仕分実証を継続して行うとともに、木曾地域の水平連携の構築に向けたアドバイザーによる課題調査、優良事例調査、連携体制の検討等を行う。 ・また、新たな木材需要を喚起するため、全国規模で開催される「ウッドコレクション2024(モクコレ)」に出展し、木曾産材及び製材品等の啓発活動を展開する。	令和5年11月 ～ 令和6年3月	
8	C	木曾地域観光資源等魅力発信事業	木曾へのアクセスが良く、人口も多い愛知県を中心とした中京圏に対し、継続的な木曾の観光資源の魅力発信を行う。	令和5年7月 ～ 令和6年3月	
9	C	木曾木製品魅力発信事業	木曾広域連合と連携し、銀座NAGANOで移住希望者向けに「木」の魅力を感じてもらおうワークショップと移住交流相談会を開催する。併せて木曾産の木材を使用した伝統的工芸を含む木曾への理解を深めてもらうことで移住に向けたツアー参加者を発掘し、担い手確保に繋げていく。	令和5年7月 ～ 令和5年9月	
10	C	社会的起業支援事業	県立大学と協働した起業希望者向け講習会の修了生に対するフォローアップ講座を実施する。	令和5年6月 ～ 令和6年3月	
11	C	木曾の伝統食材「すんき」のPR	・学校食育授業を実施し、木曾の伝統食材「すんき」の食文化の継承と地域住民へのPRを行う。 ・木曾郡外へのPRと流通経路検討のための商談会、販売会等を実施する。	令和5年8月 ～ 令和6年3月	
12	B	木曾地区災害時医療救護訓練	災害時を想定し、災害医療シミュレーションキット(エマルゴトレーニングシステム)を使用した机上訓練を行い、スタッフの技量向上を図るとともに関係機関間の連携を確認・検証する。	令和5年9月 ～ 令和5年11月	
13	C	木曾地域公共交通計画策定事業	広域バス路線の運行を着実に実現するための専門的人材の活用や運営組織、運営形態等の実態を把握するため、全国の市町村の好事例を視察することで、導入検討のための情報収集を行う。	令和5年9月 ～ 令和6年3月	
14	C	木曾青峰高等学校森林環境科広報活動推進事業	森林資源の活用や環境保全についての専門的な知識や技術の習得ができる県内唯一の学科である木曾青峰高等学校森林環境科の広報活動に力を入れるため、ホームページの改修、広報誌を作成する。	令和5年10月 ～ 令和6年3月	
15	B	救急医療の適正利用啓発事業	救急医療機関や消防の負担を軽減し適切な救急医療体制の確保を図るため、救急医療の適正利用啓発リーフレットを作成し、地域住民への啓発を行う。	令和5年10月 ～ 令和6年2月	
16	C	御嶽山火山マイスターの育成・支援	御嶽山火山マイスターのさらなるスキルアップを図り、御嶽山の魅力を内外に発信するとともに、来訪者の火山防災意識の向上につなげるための先進地の視察研修を行う。	令和6年2月 ～ 令和6年3月	